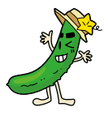
白石の新鮮野菜　う～んとうまいから、食ってみてけらい～ん！

～白石市農産物直売所連絡協議会は、地産地消を推進します～

SSN48は
白石の農産物を
応援しています♪

白石市農産物直売所連絡協議会では会員を募集しています。市内で直売活動をされている方などで興味のある方は、気軽にお問い合わせください。　㊐農林課　☎22-1253

●今月の人気農産物　ナス、サヤインゲン、キュウリ、サトイモ、リンゴ　など



小十郎の郷　毎日9:00～18:00営業！
～農産物生産者募集中！～
9月20日(土)～23日(祝)の4日間、「秋彼岸セール」を開催します。2,000円以上お買い上げの方に野菜(100円相当)をプレゼント！
●場所　JAみやぎ仙南白石地区事業本部構内(福岡長袋字八斗蒔)
㊐小十郎の郷　☎22-0881　http://www.kojuro-sato.com

青っ葉市直売所
各店とも月初めの販売日に、月1回の「サービスデー」(定期市)を開催中！　お買い上げ金額にかかわらず、お好きな新鮮野菜1点をサービスします。
①ポーチパーク内　毎週水・土曜日9:00～12:00
②本郷店(旧国道113号角田街道踏切そば)
毎週水曜日9:00～12:00
③いきいきプラザ　毎週土曜日9:00～12:00
※スーパービック白石店でも新鮮野菜を販売しています。
㊐大槻　久江　☎25-8572

羽山朝採り市　毎週土曜日9:00～12:00
●場所　犬卒都婆公会堂前
㊐小畑　胖　☎27-2236

バーバ工愛市(クラブいち)
人気農産物や生花のほか、ブドウや桃なども取り揃えています。
①旧JAみやぎ仙南白石地区事業本部ななめ向かい
(バーバ工愛市のオレンジ色のぼり旗が目印です！)
毎週水曜日9:00～12:00
②JAみやぎ仙南福岡支店構内店(旧あぐりハウス白石)
毎週土曜日9:00～12:00
㊐JAみやぎ仙南女性部白石地区バーバ工愛市　☎25-3531

馬牛沼産直センター
毎週火・木・土・日曜日9:00～17:00
●場所　国道4号沿い馬牛沼付近
㊐馬牛沼産直センター　☎25-0520
bagyunuma@yahoo.co.jp

軽トラ市　毎週金曜日9:00～12:00
●場所　すまｉるひろば
㊐四竈　☎29-2451、山田　☎26-1345

百姓市場　毎週火・日曜日10:00～13:00
●場所　ポーチパーク内
㊐佐久間義昭　☎25-6836

小原いきいき直売所　毎日10:00～15:00営業！
(悪天候により休業あり)
●場所　小原材木岩公園内
㊐小原いきいき直売所　☎29-2760

9月8日(月)から12日(金)まで「食材王国みやぎ県庁1階展示販売会」に出店します

9月8日(月)から12日(金)まで、「食材王国みやぎ」(県庁1階展示販売会)に白石市農産物直売所連絡協議会が参加します。昨年は「このカボチャの緑と白とオレンジ色の違いは？」「この金時草はどう食べればいいの？」などの質問に生産者が直接答え、会話を楽しみながら白石産の新鮮野菜をPRしました。同協議会は、白石産の美味しい野菜を栽培し、皆さんに食べてもらう事を励みに活動しています。

今後も、いろいろな地産地消のイベントに参加しながら白石のPRに努めていきますので、応援をよろしくお願いします。

●日時　9月8日(月)～12日(金)　10:00～16:00
●場所　県庁1階玄関ホール
※期間中も、市内直売所は通常通り営業します。

▲昨年の県庁1階展示販売会の様子

9月14日(日)の「第28回しろいし蔵王高原マラソン大会」(場所：南蔵王野営場)にも出店予定です。

応募方法　1人俳句三句、短歌三首、川柳三句以内(未発表のものに限る)。はがきに作品・住所・氏名・応募する壇名をはっきり書き、〒989-0292　白石市大手町1-1白石市総務課へ。**はがき一枚に短歌、俳句、川柳の併記は不可。**毎月15日締め切り。Eメールでも応募できます。(koho@city.shiroishi.miyagi.jp)

市民文芸

歌壇

岩崎　聰之介　選

亡き夫の入営に着し国民服当てもなけれど晴れ間虫干しす　高子うふん
日が暮れて菖蒲の香する川べりの水神さんに蛍とまりけり　別当内信夫
雨あがり雲切れぎれに移る空紋白ふたつ薄日にあそぶ　阿部はぎの
初摘みの胡瓜一本頂きぬ花は萎えたれ露地の匂いす　末吉アツ子
挿し木よりひとりとせを経て金糸梅けさ一輪の黄花咲き初む　寺崎　悦子
父母の恩は忘れじとこしえに終戦の日を思い新たに　小室　蓉子
さくらんぼ今年も届きぬ旧友の律気な優しさ有り難きかな　石田みどり
敬老会髪くろぐろと化け居れど腰の曲がりは如何にせんかな　菅野ちさよ
つゆどきの晴れ間を盗みお洗濯要らぬものまで山ほどに干す　遠藤　舞
つぎつぎと吹き出す汗に化粧落ち厨の鏡はバテ気味映す　佐藤　啓子

評　一首目、知らず知らずのうちに、斯く亡き人の物に触れ、お盆を迎えるのであろう。二首目、情趣あふれる蛍のふるさとだ。上の句のカ行音の調べもいい。結句は詠嘆、止まったなあ、の意。三首目、こまやかに、印象的に詠まれている。雲も、幻めく蝶も、うつくしい。

俳壇

山家　弘子　選

露光る朝の鏡に紅を引く　制野　リエ
嫋やかに生きていきたし捩り花　佐藤　孝子
青嵐や川上目指す鮠の群　末吉アツ子
歓声の闇をふるはす大花火　岩松　隆志
終の風源氏蛍を厳浄す　服部　忠孝
法話聴く山風清し夏座敷　和田　游稀
登山者の群と出会ひぬ夏野中　岩澤　伍峯
熱帯夜沢端川にすくわれて　沼田　営火
葉の先へひたすら進む蝸牛　佐藤　啓子
峡の道左右に紫陽花咲きにけり　鎌田　三無

評　一句目、洗顔をして鏡の前に座ると露にぬれた庭の千草が、朝日にキラキラ輝いている。お化粧をして最後に口紅を引くと顔が華やぎ心が引き締まる。女性ならではの佳句。二句目、何事にも一生懸命で素直だと他人に言われる。それでもこの浮世を生きぬくには、しなやかさと強かさが必要なのではと思う乙女のような美しい心を可憐なねじ花が代弁してくれた。三句目、青葉若葉を吹きあげる清爽な風が水上を渡る中、鮠の群が矢のように川上へ泳いでゆく。生き生きとした群青の景が描けた。

柳壇

四竈　英夫　選

三代で暮らせる日々に手を合わせ　鎌田　三無
大臣の口から本音こぼれ落ち　別当内信夫
遂に来た掛けたメガネを探すボケ　阿部はぎの
どちらにも道理があって引き分ける　草野　清
古写真見つけ進まぬ大掃除　和楽　青洸
ガラケーでスマホの孫と初メール　末吉アツ子
この先の人生如何と杖を止め　山脇　偵
休日の至福の時間ハーブティー　佐藤　孝子
払暁の眠りを破る震度四　大庭美智子
蛙鳴き逆さ蔵王を映す池　村上　照夫

評　一句目、核家族化のご時世に三代同居とは羨ましい。夫婦愛和家内円満のお手本。橋の落成の定番「渡り初め親子三代三夫婦」。二句目、「結局は金目でしょ」と言ってバッシングされた大臣がいたが、地獄の沙汰も金次第と言う事か。世知辛い世の中ではある。三句目、老いと共に忍び寄る認知・物忘れ。一日の半分は探し物と嘆く向きも。「おじいちゃん頭のメガネ探してる」。ご用心、ご用心。

風間市長の 風のささやき
「海老名市」

皆さん「海老名市」をご存じでしょうか？　いまさら何を…とおっしゃる方が大多数だとは思いますが、あらためてご紹介します。

海老名市は、東京から約50㎞、横浜から約20㎞で、神奈川県のほぼ中央に位置し、相模国分寺跡などを有する歴史の街であり、日本の高速道路サービスエリアで有数の規模を持つ「海老名サービスエリア」がある街でもあります。小田急電鉄、相模鉄道、JR東日本が乗り入れ、近年、横浜・東京のベットタウンとして注目を集めています。それと同時に、市内には多くの田園地帯があり、伝統的な農業緑地と都市住宅が共存している街でもあります。面積が26・48㎢。本市の約10分の1の地域に、約13万人もの人々が暮らしています。

今年も、7月末に「第39回えびな市民まつり」に行ってきました。海老名運動公園内陸上競技場をメーン会場に、ステージ、ブース出店、みこし練り歩き、はやし演奏、花火の打ち上げなど、午前10時から午後8時30分までさまざまな催しが繰り広げられていました。

本市の物産コーナーも一番目立つ所に設けられ、物産販売とともに市民間の交流を深めてきました。白石市観光大使の白石戦國武将隊「奥州片倉組」からも「真田幸村」が駆け付け、本市のブースを盛り上げてくれました。

しかし今年は、夕方4時ごろから突然のゲリラ雷雨。それでも多数の来場者は、最寄りのテントや屋根のあるところに避難しながら、最後の花火まで楽しんだようです。今年の花火の打ち上げは、陸上競技場スタンドから真正面に見えるように打ち上げ位置を相模川河川敷に変更。スタンド席を有料指定席にしたと聞きました。そのスタンドの反対側に設置されたステージで、海老名市婦人会の皆さんと白石音頭を披露してきました。

ちょっと残念だったのが、海老名青年会議所主催の「えびなで恋するまつりコン」が豪雨のために中止になってしまったことです。このまつりコンでカップルが成立すると、特別席で花火観覧ができたそうで、恋の大輪が打ち上げられなかったのが妙にもったいなく感じられました。でも、あの雨では仕方なかったとは思います。中止をする決断の方が大変ですから。

この海老名市と姉妹都市締結をして、今年で20周年目を迎えます。11月11日には「白石市・海老名市姉妹都市締結20周年記念式典」が、海老名市で開催されます。海老名市の内野優市長、登別市の小笠原春一市長の話では、両市の間で姉妹都市締結を考えているようで、記念式典の時に何らかの動きがあるかも…。また、民間団体同士の姉妹締結も考えている旨の話を聞きましたので、実現してくれたらうれしいと思います。

皆さん、機会がありましたら、姉妹都市「海老名」に行っていただき、海老名市の魅力を五感で感じてください。